



望洋台小だより



学校 HP

R5. 10. 27 No.9

(通算 560 号)

<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子
- 思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子
- 明るく健康な子
- 協力し働く子

伝統を引き継ぐ

校長 及川 年彦

12月9日(土)は、本校の40回目の開校記念日です。本校は、昭和59(1984)年4月1日に児童数151名、6学級で開校しました。しかし、新体育館が完成し、その新体育館で校舎落成式を挙行了たのが昭和59(1984)年12月9日だったため、この日が開校記念日となりました。

校舎落成記念誌「ぼうようだい」には、子どもたちの「お祝いのことば」が掲載されています。その中から当時の1年生の「お祝いのことば」を紹介します。

わたしは、4月からぴっぴかの1ねんせいです。にゅうがくしきの日、がっこうの中にはいったらぴっぴかで、びっくりしました。だけど、グラウンドやたいいくかんはなかったのでも、たいいくは、きょうしつや、おんがくしつでやっていた。でも、もうだいじょうぶ。小たるで1ばんひろいグラウンドもできたし、たいいくかんもできました。なわとびもぶつからないで、あんしんしてとべるよね。おにごっこや、ボールあそびもみんなとおもいっきりできるので、とてもうれしいです。

そうです。40年前に開校した望洋台小学校には、体育館だけではなく、グラウンドもなかったのです。

当時の記録によると、グラウンドができたのは8月10日で、運動会は9月に開催されたそうです。

そこで、子どもたちの体力をつけるために始められたのが、広い場所をとらずにできる「なわとび」でした。望洋台小の伝統である「なわとび」はこうして始まったのです。

体育館が4月当初からあったなら、もしかすると「なわとび」が望洋台小の伝統とはならなかったかもしれません。こうして、40年経った今も、望洋台小の「なわとび」は脈々と受け継がれてきました。

11月28日(火)は、なわとび集会です。時が経ち、そのかたちは変わってきたかもしれませんが、「子どもたちのために」という思いは変わらず引き継がれています。ぜひ、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちに大きな拍手をお願いします。

また、すでにご案内の通り、12月9日(土)には望洋台小学校開校40周年記念式典及び記念講演会を本校体育館にて举行します。

こちらにも保護者の皆様、地域の皆様のご臨席を賜りますようお願い申し上げます。



10月18日(水)に40周年記念事業協賛会広報部の方々が、記念式典会場の飾りを作成している様子です。さまざまな業務が当日に向け着々と進められています。いつもご協力ありがとうございます。

第9回小樽こどもの詩(ポエム)コンクール

10月21日(土)、小樽経済センターにて「第9回小樽こどもの詩(ポエム)コンクール表彰式」がありました。本校から227点、市内小中学校から4805点の応募がありました。その中で、2年生の大西勘太さんが低学年の部で銅賞、2年生の安部璃志佳さんが低学年の部で優良賞、4年生の加賀田璃究さんが中学年の部で優良賞となりました。おめでとうございます。3名は、立派に学校の代表として表彰式に参加しました。



うちのアサガオ

2年 大西 勘太

お水たくさんあげてもシランシカオ

なかなかさかないうちのアサガオ

パパが「さいた!」とオドロキガオ

「ほんとにさいてる!」とうれしいエガオ

でもすぐ花がちってシヨンボリガオ

また来年会おうねうちのアサガオ

「アーサー・ビナードのコメント」
アサガオの観察のみならず、その花を見つめる人の顔も観察している。咲いたときお父さんは「オドロキガオ」だったそうだ。この造語装置「○○ガオ」がなかなかよくて、読み終わったときぼくはかんべきに「アーサーガオ」になっていた。

開校40周年記念学習発表会

10月14日(土)に開校40周年記念学習発表会を行いました。当日はたくさんの保護者や地域の方々にご来校していただきました。子どもたちが、日常の学習の成果を十分に発揮する姿をご覧いただくことができたと思います。今回の発表会で、学んだ「仲間と協力する大切さ」「精一杯努力する大切さ」「自信をもって表現する力」等を今後の学校生活に生かせるように子どもたちを支えていきます。今回も保護者の皆様には、衣装の準備や体調管理など、さまざまなご理解とご協力をいただきました。ありがとうございました。



どさんこ子ども地区会議 in しりべし

10月25日(水)に、「どさんこ子ども地区会議 in しりべし」がオンラインで開催されました。後志地区の小中高生が「いじめ」について話し合う会議に、望洋台小学校児童会の子どもたちが参加しました。市内の学校からは、望洋台小学校のみが参加となりました。いじめをなくすためには「仲良く交流することが大切ではないのか」「相手のよいところを探してはどうか」等、活発な意見交流を行いました。堂々と意見を述べる望小児童会の子どもたちの立派な姿を見ることができました。

